



株式会社MIKAMI

代表取締役社長

みかみ まこと
三上 誠 氏



太陽光発電システムを導入し、CO₂排出量削減に貢献する三上社長

株式会社MIKAMI



所在地 所沢市林1-299-7(三ヶ島工業団地内)
代表者 代表取締役社長 三上 誠 氏
事業内容 自動車、建設機械、光学、医療、計測
機器等の金属精密加工
OEMによる製造組立
資本金 4,000万円 従業員数 41名
TEL 04-2949-9450
<https://www.mikami-co.jp>

埼玉県SDGsパートナーとして昨年登録され、SDGsの達成に向けて取り組む同社の三上社長に話を伺いました。

■貴社の概要について教えてください

三上 1967年、三上精機の創業から、旋盤による部品加工技術は、鍛え抜かれた職人の“技”により、高い水準を誇ります。2012年には、20φ以下の複合MC旋盤加工に特化した、さいたま工場を開設しました。「高品質の製品」「高い技術力」「高生産性」をモットーに、人手に頼らないNC、数値制御の機械やロボット機能が付いた複合加工機を導入し、自動化を推進して生産効率を高めてきました。お客様のあらゆるご要望に対してお応えできる「技術力のMIKAMI」として、今年で創業55年目を迎えます。

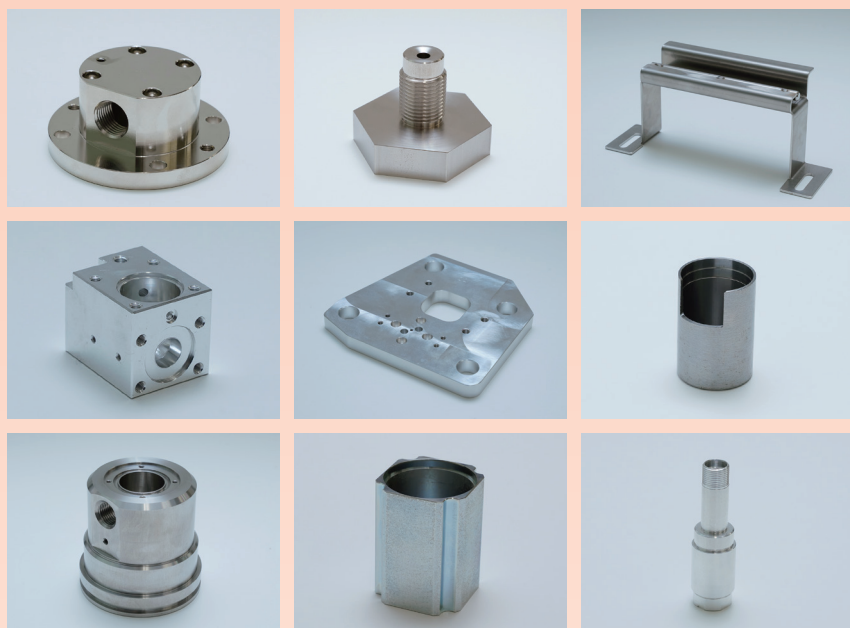
加工材質は、鉄、アルミ、ステンレス、^{しんちゅう}真鍮、チタン、純鉄、ハステロイなど、試作品から量産品まで、お客様の図面に基づいての受注生産型の企業です。品質にこだわっています。ISO9001の2015年版を取得していますので、顧客満足度調査をしています。各社様から高い評価を得

ています。当社の特徴として、小回りが利き、親切に対応することです。社員には、「お金を下さるのも取引先ですが、当社に納めていただいている仕入れ先様もお取引様」と言っていて、「お互いに心をもって接するように」というのが、当社の「あきない」の基本です。「できるだけお客様の立場になって物事を起こす」という精神です。“Making the Impossible Possible”=「不可能を可能にする」。「できない」と言ったら終わりなので、「まずは検討させてください」の一言から始まる心をもって仕事に取り組んでいます。

■加工品や独自技術について教えてください。

三上 自動車、建設機械、油圧ソレノイドなどの油圧・空圧機構部品では、焼き入れやメッキ、研削など、切削加工だけでなく工程が長い部品が多く、納期管理が難しいものも納期を厳守して納入しています。カメラ、内視鏡関連の光学・医療用機構部品では、薄肉、カム切り、角度公差15'の加工など、複雑な加工で要求精度が高い部品が多いです。さらにピックアップセンサー、圧力センサー、温度センサー、ガス検知機器の部品も、高い要求精度に対応しています。

埼玉県SDGsパートナーを活用し持続可能な会社経営



油圧・空圧機構部品、医療用機構部品などの各種切削加工部品



投影機などの各種検査設備も充実

センサー等に求められる「薄膜加工」は、通常は薄い膜を本体に溶接するなど3工程かかりますが、当社では切削の1工程のみで0.1mmまでの薄膜を削り出すことが可能です。精度、強度ともに優れ、納期の短縮・品質の向上を実現しています。

センサーには、赤外線が乱反射しないようにするために鏡面が必要になる部分があります。鏡面を出すためには研削加工が必要ですが、切削加工で鏡面加工を実現した「研磨レス切削鏡面加工」により、表面粗さ0.8s以下の加工が可能です。後工程として研磨の必要はありません。品質の向上、コスト削減、納期の短縮を達成しています。

MIKAMIとして品質保証するため、三次元測定機、投影機、真円度測定機、形状測定機と、多岐にわたる検査設備をそろえています。

■今後の展開・抱負は

三上 2021年7月に当社が埼玉県SDGsパートナーとして承認されました。「ものづくり=ひとつづくり」の理念に基づき、社員教育を重点に企業経営を行うとともに、地域社会や周辺環境から恩恵を受けていることを忘れず働くことを指導します。このことを忘れずに事業活動を行い、持続可能な

会社となり社会貢献します。この考えは持続可能な開発目標（SDGs）と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。これまで社員に還元できなかったこと、例えば賞与を厚くするなどして「MIKAMIで働きたい、MIKAMIで働いていて良かったね」と思われる会社を目指しています。

一つ一つを確実に、良い事、悪い事を実験実証し、挑戦しながら、次に進もうというのが当社のスタイルです。最近、この一環で事業再構築補助金を利用して、新規機械設備を導入しました。半自動化ができれば、次はロボットを導入することで完全自動化できる流れで動いています。

私は2代目で62歳です。65歳になったら会長に就き、入社後10年以上がたつ35歳の息子に社長を任せる予定です。アナログな私と、デジタル指向の息子の良い面を取り入れたアナログとデジタルを融合し、100年企業を目指して息子に託します。

所沢三ヶ島工業団地の拡張に合わせて当社工場も拡張し、さらに自動化を進める計画で、年商10億円企業を目指します。